

上尾市の産業祭に初めて参加

もとみや産品大盛況

東日本大震災をきっかけとして交流を進めている、埼玉県上尾市のあげお産業祭が11月12日と13日に開催され、本宮市も初めて参加しました。産業祭はたくさんの人出で賑い、本宮市の新鮮な野菜や新米などをPRし、多くの上尾市民の皆さんが農産物や加工品を買い求めました。また、開会式では安達太良太鼓保存会による安達太良太鼓も披露しました。



▲多くの方が本宮の産物を買いました



なかでも人気だった
烏骨鶏のやきとり▶



▲安達太良太鼓を披露

負けるな!

市では、農畜産物の風評被害対策として、首都圏を中心に積極的に販売PR活動を行っています。特に杉並区や板橋区の商店街、相模女子大学や日本大学経済学部の皆さんにも応援いただきながら、イベント開催時に参加させていただいており、市の農産物の安全性をPRしています。

広がっています

10月16日、東京都杉並区にあるアンテナショップ「ふるさと交流市場」のオープン1周年記念で、「本宮市農産物フェア」が行われました。

多くのお客様においでいただき、炊きたてのコシヒカリの新米に、烏骨鶏の卵かけご飯を試食してもらい、贅沢なサービスに多くのお客様から好評を博しました。

日本大学経済学部三崎祭

いらっしやいませ!

10月29日から31日の3日間、本市と交流を続けている日本大学経済学部新海ゼミナールの学生が、学園祭である「三崎祭」で本宮市の産品を販売しました。本宮市の地図や放射性物質の解説を掲示するなど、お客さんに本宮を紹介しながら安全をアピールしました。毎年訪れる近所の方も多数いるとのことで、米、野菜、お菓子などは全て完売しました。



▲元気な声で本宮の産物をPRしてくれました



相模女子大学生が参加 秋まつりを盛りあげる

本宮市と地域協働活動協定を交わしている神奈川県相模女子大学生12人が、10月21日から23日、もとみや秋祭りに参加するため、市内の民宿農家に滞在しました。3日間をとおして、本市に避難している浪江焼きそばの「宝来軒」さんの出店に協力し、手伝いを行ってくれました。売り子を始め食材準備などの支援をし、お店の方からは「若い方のお手伝いのおかげで、3日間の長丁場を乗り越えることができた」と感謝の言葉をいただきました。また、本祭りには「真結女御輿」への担ぎ手として参加し、慣れない動きや重さに大変苦労している様子でしたが、やり終えた顔には満足感が満ちていました。



▲出店の手伝い
◀真結女御輿にも参加

相模大野駅で「本宮市応援フェア」 いかがですか？

10月16日に小田急線相模大野駅で、本宮産品首都圏販売促進協議会を主体とした「福島県本宮市応援フェア」が開催されました。当日は、本市と地域活性化事業で交流がある相模女子大学の学生10名の協力のもと、同大の学長をはじめ、副学長や教授、本市の中野副市長が会場を訪れ、農産物や加工品を積極的に販売しました。販売ブースには、相模女子大学との地域協働活動の紹介や東日本大震災の被災状況のパネルが展示されたほか、応援メッセージを送るコーナーも設置されました。



▲相模大野駅での応援フェア



▲たくさんの応援メッセージも寄せられました

風評に

ふるさとの応援団！
もとみやサポーターの輪が

杉並区

ふるさと交流市場
オープン1周年記念



▲大好評の新米の試食